

六、改善ノ余地ハアラムモ何等不都合ナシ
七、本邦人側ノ新聞論調等ハ多少注意シ居ルナラムモ当地ノ排日運動極メテ微々タル為實際ノ影響認メ難シ
八、我執ルヘキ一般方策トシテハ帝國代表者及出先各領事ニ於テ単ニ文書等ノ抗議丈ヲ為スモ利目乏シキニ付中央政府及地方最有力官憲ノ急所ヲ突キ得ル方法ヲ講シ先ツ之ヲ仄カスニアリ又排貨団体ノ正体ト其ノ日貨没収等ノ行為ヲ突止メ具體的ニ賠償ヲ為サシムルモ宜シキ方法ナリ（本官長沙在勤当時塩川洋行ニ付其ノ実例アリ）
次ニ当地ニ於ケル取引状態ハ何等從來ト変リナク邦商ヨリノ苦情モ出テ居ラス

九、支那側ノ排日言論中未タ（脱）ト認メラルルモノヲ聞カス劣貨トハ商品ノ良否ヲ問ハス日貨ト明言ヲ避クル為用ヒタル語ナルカ如シ尤日本品中粗製ノ物多シ
十、当地ニ於テハ既ニ終熄ニ近キモ各省殊ニ長江筋ニ於ケル終熄時期ニ付テハ予測シ難シ

十一、今回排日ニ伴ヒ当地方日本支那商共ニ差シテ損害ナシ從テ欧米人及一部支那商ノ利セル程度モ言フニ足ラス
十二、当地ニ於ケル排日ハ微力ニテ實際ノ影響ナキニ付略

ダ敬服スルモ軌道ヲ外レタル行動ヲ慎ム可キ旨戒メ且諸願ノ趣旨ハ中央政府ニ電報スベシト一場ノ訓示ヲ与ヘ群衆ハ午後一時過ギ其場ニ於テ解散シ大会及行列ハ比較的静粛ニ行ナハレ何等ノ事故發生ヲ見ズ尚同日城内商務總會ニ於テ日貨ノ処分及將來日貨ノ取扱ヲ為サザル旨協議セル模様アリ前日ヨリ廢除二十一箇条回收旅順大連ノ貼札ヲ主ナル市街各商店ニ貼附セラレタリ
本電北京及青島へ転電シ芝罘へ暗号ノ儘郵送セリ

一七三 四月四日（発）
在張家口荒井領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

張家口ニ於ケル二十一箇条問題ニ関スル学生
並ビニ商務總會ノ動向ニ付申進ノ件

第三号

二十一ヶ条問題ニ関シ今般北京学生連合会及天津青年会ヨリ発シタル檄文カ相前後シテ当地ノ学校ニ送達セラルルヤ三四百余名ノ学生ハ四月一日師範学校ニ集マリ協議会ヲ開キ一学生ハ慷慨悲憤ノ演説ヲ試ミ更ニ指ヲ切ツテ白布ニ献血救国ト血書シ終ハルヤ演壇上ニ昏倒シタリ会衆ハ之ニ激

ス

二 華 北

一七二 四月四日（発）
在濟南藤井總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

濟南ニ於ケル旅大回收、日貨排斥ニ関スル国
民大会ニ付報告ノ件

第二四号

本官發青島總領事宛電報第一八号

予報ノ通本月三日午前九時当地商埠公園ニ於テ国民大会ヲ挙行市内男女学校十余校商業各団体等一万人参集シ座長ニ推サレタル曹省議會長ハ国民ハ二十一箇条ヲ承認セス旅大回收ノ目的ヲ貫徹セントスルモノナリ云々ノ開会ノ辞ヲ述べ其他数名ノ演説アリ中央政府及各地方ニ通電ヲ發スルコトヲ議決シ十時半散会ノ群衆ハ直ニ隊伍ヲ整ヘ旅大回收日貨抵制等ノ大小ノ旗ヲ手ニシ公園ヨリ当館ノ門前ヲ通過九馬路ヲ經テ城内ニ至リ省長公署ニ赴キ請願書ヲ提出シタルニ熊省長ハ自ら之ニ応接シ今日諸君ノ熱誠ナル愛国心ハ甚

セラレ直ニ旗行列ニ著手セムトスル折柄警察庁長及学務委員等ハ察哈爾都統ノ内意ヲ受ケテ現場ニ馳ケ付ケ在留日本人少ナキ当地ニ於テ示威運動ヲ行フトモ学業ヲ空シクスルノミニテ其効果無カルヘシ誠意ノ存スル所ハ詳細其筋へ上申スヘキニ付輕挙盲動スル勿レト懇々説諭シタルニ学生ハ一同之ニ從ヒ示威運動ヲ見合セタリ

当地商務總會ハ今般大總統及國務委員ニ宛テ二十一ヶ条問題ハ已ニ国会ノ否認セルモノナレハ國際法上何等ノ効力ナキ筈ナリ然ルニ日本ハ強キヲ恃ミ法ニ違ヒ我國權ヲ侵害スル行動ハ国民一般ノ痛憤スル所ナレハ此際我主權ヲ保護シ正義ノ存スル所ヲ明ニスヘク嚴重交渉セラレムコトヲ希望スト電請セルモ右ハ一片ノ形式ニ過キサシモノノ如クニシテ其他何等ノ示威的運動ヲ認メス日支人間ノ商取引ハ依然トシテ恙ナク行ハレツツアリ又当地唯一ノ支那新聞紙ハ未タ評論ヲ試ミタルコトナシ要スルニ当地支那側官民ノ態度ハ右ノ如キ学生団ノ空騒キ一回アリタル外ハ目下ノ所概シテ冷靜ナリ

北京へ電報セリ

一七四 四月十六日 (発) 在青島森総領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

青島ニ於ケル二十一日簡条約取消ニ関スル示
威行列ノ中止ニ付キ報告ノ件

第二九八号

往電第二七〇号ニ関シ当地市民ハ昨十五日ヲ期シ二十一ケ
条条約取消ニ関シ示威行列ヲ行フコトナリ居リ当日ハ日
曜ニモアリ殊ニ花見時ナレハ本邦人側ニモ各種運動会ノ催
シアリ自然我カ在留民ノ外出多ク両者ノ間ニ衝突ナキヲ保
セサリシヲ以テ本官ハ予テ商埠坐弁交渉員商埠警察庁長等
ニ対シ集会及行列ノ取締方ヲ要求シ一面我カ警察ニ対シテ
モ当日本邦人側ノ取締ヲ厳ニスル様訓令シ置キタル処幸当
日ハ雨天ナリシト支那商人ノ大部分カ本件示威運動ニ氣乗
リセサリシ結果終ニ行列ハ実行ヲ見スシテ平穩無事ナルヲ
得タリ

在支公使及濟南へ転電セリ

一七六 五月九日 (着) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

北京ニ於ケル学生団排日運動情況ニ関シ報告
ノ件

第四三四号

五月七日学生ヲ主トスル約二千ノ会衆当地ニ国恥記念大会
ヲ開キ十数種類ノ不穩伝單ヲ撒布シ排日演説ヲ試ムルモノ
十八名ニ達シタルモ会場内乱雜喧噪ヲ極メ何等決議ヲ見ル
ニ至ラズ解散シタルガ右学生ノ大部分ハ更ニ行列シテ市内
示威運動ヲ行ヒタル外馮玉祥部下軍隊約三千無忘国耻ト書
セル旗ヲ翳シ市中目抜ノ場所ヲ二、三時間練リ歩キタリ兎
ニ角当地学生等ノ排日氣勢日ニ劇烈ヲ加ヘ来リ昨今市中到
ル処ニ誓死回收旅大、經濟絶交等ノ文言ヲ記セル紙札ヲ掲
グルニ至レル事実アリ五、六日經過後ト雖此種風潮ハ俄ニ
止マリ難キ様思考セラルル処知識階級並ニ一般商民中ニハ
右学生等ノ輕拳ヲ嘲笑シ居ル向齡ナカラザルガ如シ
尚右ニ関シテハ支那側ニ抗議中

(奉天中継五月九日前九、〇)

一七五 五月八日 (発) 在濟南藤井総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

濟南ノ国辱記念日ニ於ケル市民大会ニ付キ報
告ノ件

第三三三号

五月七日国辱記念日当日ニ於テ学生連合会主催ノ市民大会
ハ当地商埠公園ニ開催セラレ各学校生徒ノ外二、三商業団
体モ之ニ参加シ総數約三千人、二三排日の演説ノ後市中ヲ
游行セルモ何等事故ノ發生ナク解散セリ例ニ依リ日貨現在
數ノ調査及将来日貨取扱ノ嚴禁等ヲ議決ス近來学生ノ排日
運動漸次具体化シ隊ヲ成シテ日貨取扱店へ闖入シ調査ニ託
シテ脅迫的態度ニ出ツル者有ルヲ聞知セルヲ以テ本官ハ過
日熊省長ニ面談シ学生ノ不法ヲ嚴重ニ取締ル様要求セル処
其ノ後支那官憲モ幾分此ノ方面ノ取締ヲ注意シ居ルモノノ
如ク昨七日ノ大会モ從前ニ比シ氣勢上ラサル觀アリ尚当日
ハ銀行ノ如キハ国辱記念休日ノ看板ヲ掲ケテ休業セルモノ
アリシモ市中一般ハ平常ノ通開店セリ

本電北京青島芝罘へ転電セリ

一七七 五月十一日 (着) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

北京ノ馮玉祥軍隊ノ排日示威行進等ニ関シ外
交總長代理ニ注意喚起ノ件

第四四四号

往電第四三四号ニ関シ

九日外交總長代理ニ各領事ヨリ報告セル排日運動ノ概要及
七日北京ノ行動殊ニ馮玉祥軍隊遊行ノ事実ヲ指摘シタル上
此種行動ニ付テハ支那側ノ自發の取締ヲ期待シ居リシガ横
暴甚シキヲ加ヘントスルニ拘ラズ取締不十分ナルハ遺憾ナ
リ殊ニ北京軍隊行為ハ恕スベカラザルコトナリトテ強ク先
方ノ注意ヲ喚起シ嚴重取締並軍隊遊行ニ対スル説明ヲ求ム
ル旨ヲ述ベタリ右ニ対シ陳ハ右總理ニ報告スベシ各地ニ於
ケル愛國の行動ハ致方ナシトスルモ無謀ノ行動ハ調査ノ上
相当処置ヲ講ズベシ只直接ノ關係ハナキモ此種運動ハ旅大
問題ニ関セルニ付之ニ対シ日本政府相当讓歩セバ自然消滅
スベキ旨述ベシニ付本官ハ右全然別問題ニシテ政府ハ已ニ
明確ナル回答ヲ与ヘタリト述ベ置キタリ尚本件ニ関シテハ
別ニ公文申入ルル筈

在支各領事ニ暗送セリ

(奉天中継五月十一日前十時)

一七八 五月十一日(発) 在芝罘内山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

芝罘ノ国民連合会ノ二十一箇条条約取消二関

スル決議二付報告ノ件

第一四号

当地国民連合会ハ学生会ノ強要ニ基キ各方面ノ代表者六十
余名ヲ召集シ十日商務總會ニ於テ緊急大会ヲ開催シ廿一ヶ
条取消問題ニ対シ執ルヘキ態度ヲ討議シタルカ主ナル決議
事項左ノ如シ

- 一、政府及国会ニ打電シ各界ノ状況ニ関シ命ヲ求ムルコト
- 二、各地ノ各団ニ対シ期日ヲ定メ対日經濟絶交ヲ約セシメ
且日本在住ノ客商全部ヲ引揚シムル様通告スルコト
- 三、市内ノ各商店ニ対シ五月末日ヲ限り日本品ノ輸入ヲ禁
スル旨警告シ其実行方法ニ付テハ國貨団ニ於テ自決スル
コト
- 四、来ル日曜日(十三日)ヲトシ福建會館ニ於テ國辱大会

ヲ開キ前記ノ状況ヲ報告シ当地人士ノ熱誠ヲ披瀝スルコ
ト

之ヨリ先学生会ハ屢々國貨団ニ対シ排日貨ヲ強要シタルモ
同団ハ他地ノ形勢ニ名ヲ藉リテ其实行ヲ躊躇シ居リタルヲ
以テ終ニ國民連合会ヲ動カスニ至リシモノニシテ國貨団カ
右ノ決議ヲ尊重シ愈々排日貨ノ実行ヲ決意スルニ於テハ前
例ニ依リ当地ハ執拗ニ之ヲ支持スルナラント思考セラル
北京、濟南ヘ転電セリ

一七九 五月十五日 内田外務大臣ヨリ
在中国各領事館宛

日貨排斥運動緩和方ニ関スル方針二付訓令

ノ件

付記 五月十二日付田中外務次官ヨリ一道三府四十三県知
事、拓殖局事務長官宛通商機密合第三五二号

日貨排斥ニ関シ在留中国人利用方ノ件

通商機密合第一二五号

大正十二年五月十五日

日貨排斥運動緩和方ニ関スル件

今次廿一ヶ条廢棄問題ニ伴ヒ支那各地ニ發生セル日貨排斥

乃至經濟關係断絶等ノ運動ハ之ヲ通觀スルニ今日マテノ処
其方法必シモ激越ナラズ商民概シテ冷淡ノ態度ヲ持シ官民
一般ニ目的達成上ノ自信ヲ欠キ加フルニ政情ノ不安定ニ由
リ各地方夫々立場ヲ異ニシ特ニ滿州一帶ニ於テ比較的平靜
ヲ保チ居レル等ノ点ニ於テ前回ノ排日運動ト其趣ヲ異ニス
ルモノアルヤニ認メラレ本邦當業者側ニ於ケル仕入ノ手控
等ト相俟テ幸ニシテ未タ著シキ影響ヲ我對支貿易ニ及ボス
ニ至ラザル処他面各官ノ報告ヲ綜合スルニ該運動ハ漸次具
体的トナリ又各地ニ瀾蔓ノ兆アルノミナラズ其当初ニ於テ
微温ナル丈ケ却テ永續性強カルベク仮令一地ニ於テ一時
終熄ノ觀ヲ呈スルモ或ハ他地ノ運動ニ刺撃セラレ或ハ政争
其他ノ偶発的事故ニ関連シテ一部人士ノ為メニ煽動利用セ
ラルル等ニ因リ容易ニ再燃激成セラレ如此ニシテ支那各地
ヲ通シ執拗ニシテ間歇ナル運動ヲ続ケ久キニ亘テ決定的
終熄ヲ見難キ虞無キニ非ズ果シテ然ラハ我輸出業者ハ實際
取引上多大ノ不安ト困惑ヲ感スルコトトナリ曳テ熾烈ナル
前回ノ排貨ニ比シテ更ニ深刻ナル不利ト不便トヲ蒙ルニ至
ルベク而カモ我對外貿易ノ現勢ハ大正八九年當時ト異リ南
洋南阿其他ノ市場ニ對スル輸出不振ノ結果對支輸出ノ地位

愈重キヲ加ヘ来レルノミナラズ支那ニ於ケル國貨提唱ノ実
果輕視ヲ許サズ且又支那官民ヲシテ常ニ排貨及之ニ類似ノ
運動ニヨリ不当ノ主張ヲ達成シ得ルヤノ觀念ヲ抱カシムル
コト將來ノ為メ甚ダ面白カラザルモノアリ旁々今次排日運
動ニ就テハ我ニ於テ眼前ノ事情ニ捉ハレズ慎重ニシテ万全
ナル措置ヲ執ル必要アリト被認ルル次第ニ有之候
而テ右措置ニ就テハ各地夫々事情ヲ異ニシ一概ニ論シ難ク
又既ニ貴官ニ於テ適當御取計ノ儀ニモ有之候処執レニスル
モ主義トシテ(一)一面鎮庄取締ニ就テハ地方責任官憲ヲシテ
励行ノ要ヲ充分自覺セシメ他面民衆ノ各種排日運動ニ對シ
テハ我官民一般ニ於テ之ヲ默殺重視セサルノ態度ヲ執リ阻
止ヲ謀リテ却テ糧ヲ敵ニ飯スカ如キ結果ヲ来スヲ避ケ(二)在
留邦人ニ對シテハ嚴ニ其挙措行動ヲ慎ミ苟クモ不測ノ事端
ヲ醸シ又ハ災害ニ逢着スルノ虞アルカ如キ危険ヲ冒スヲ避
ケ排日ノ口実ヲ与ヘ又ハ其氣勢ヲ激発スル事無キ様充分ノ
注意ヲ払ハシメ(三)尚若シ該運動ニシテ支那人相互間ニ於ケ
ル行動ヲ超ヘ直接本邦人又ハ其事業財産等ニ對シ何等暴行
乃至阻害ヲ与フルニ至リタルトキハ事ノ大小ヲ問ハズ直チ
ニ真相ヲ明カニシテ後日ノ証左ヲ作り同時ニ責任官憲ニ對

シ嚴重善後措置ヲ要求シ早キニ於テ成ルベク機密ニ処理シ民衆ニ對シテ論議ノ余地ヲ与ヘズシテ解決ヲ計リ且平素(四)排日運動ノ消長、経路、組織、資源、関係者等ニ就テ充分ニシテ公平ナル觀察ヲ加ヘ之ヲ本省並關係各館相互ニ通報シ又所在當業者ヲシテ支那顧客ト内密ノ連絡ヲ保持セシメ實際取引上ノ各種便法ニ付充分ノ研究ヲ為シ其結果ヲ當方ニ通報シテ排貨ニ由ル損害軽減ヲ容易ナラシメ又後日調査ノ参考タラシムル等ノ取計ハ蓋シ必要ニシテ有益ト被認候ニ就テハ右方針ニヨリ御措置相成度右諸般ノ措置ハ大体貴官ニ於テモ適宜施行セラレ居ルコトト思考致サレ候得共上記ノ如ク今次排日運動ノ或ハ比較の間歇永續性ヲ帶フルナキヤヲ恐レ引続キ前叙ノ方針ヲ以テ衝ニ當ラルル様配意方必要且有効ト被為存為念申進候条右諒承相成度候也

(付記)

五月十二日付田中外務次官ヨリ一道三府四十三県知事、拓殖局

事務長官宛

日貨排斥ニ関シ在留中国人利用方ノ件

通商機密合第三五二号

大正十二年五月十二日付

シテ進デ之等在留支那商ト連絡接近ヲ計ラシメ彼等ヲ通ジテ對支輸出ニ現実ノ衰退ヲ見ザル様措置セラレ度右ハ既ニ(欄外註記)貴官(前記各官庁)ニ於テ適宜御取計ノ儀ト被信候ヘ共為念此段得貴意候也

(欄外註記) 拓殖局事務長官宛ハ括弧内ノ通りトス

一八〇 五月三十日(着) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日問題對処方針ニ関シ申進ノ件

第四九八号

天津発閣下宛往電第九三号ニ関シ當館ニ於テハ今次ノ排日問題ニ對シテハ通商機密合第一二五号ト同様ノ觀察ヲ為シ来リタルモノニシテ此ノ際ノ措置トシテハ直接本邦人又ハ其ノ事業財産等ニ對シ暴行又ハ損害ヲ蒙ラシメタルカ如キ場合ニハ事ノ大小ニ拘ハラス個々ノ場合ニ付地方官憲若ハ場合ニ依リテハ中央政府ニ嚴重抗議スルヲ怠ラサルト共ニ公使館トシテハ目立チタル事件アリタル際ヲ機トシテ時々中央政府ノ注意ヲ喚起スルノ方法ヲ取ルヨリ外ナシト思考セリ

今次廿一ヶ条廢棄旅大回収問題ニ関連シ支那各地ニ發生セル日貨排斥乃至經濟關係断絶等ノ運動ハ幸ニシテ未ダ激烈ナラズ我對支貿易ニ及ホス影響亦今日マテノ処大ナラスト雖モ之ヲ大正八九年當時ノ先例ニ徴スルモ其発端ノ微温的ナル丈ケ却て間歇の永續性強カルヘキヤニモ思考セラレ容易ニ樂觀ヲ許サス最近接收在支各公館ノ報告ヲ綜合スルニ運動漸次具体化シ来ルノ虞アリ又各地ニ蔓延ノ兆無キニ非ル次第ニ有之候然ルニ此種運動緩和策トシテハ蓋シ先ツ其氣勢ヲ強ムベキ口実ヲ彼ニ与ヘ又ハ事態ヲ惹起セサルヲ可トシ寧ロ帝國朝野ニ於テ默殺ノ態度ヲ執リ同時ニ商取引ノ實際ニ努メテ影響ヲ及ホサザル様便法ヲ講シ支那官民ヲシテ排貨ノ薄効ヲ自覺セシムル事必要ナリト被認候ニ就テハ(欄外註記)貴官ニ於テモ右趣旨ニヨリ(貴官ヨリ右趣旨ヲ朝鮮台灣兩總督府並樺太庁ヘ御伝達ノ上之等諸官庁ニ於テ)管下在留支那商ノ保護取締ニ充分意ヲ用ヒ成ルヘク寛容ノ態度ヲ以テ彼等ニ臨ムト共ニ苟モ煽動使喚ノ事実アル者ニ對シテハ帝國ノ對支方針ノ常ニ和平公正、且又共存共栄ヲ主眼トスル所以ヲ実例ニ就テ懇切説示シ大局ノ利害ニ顧ミテ盲動スベカラサル旨諭告ノ上先ツ其行動ヲ監視シ他面本邦商社ヲ

日貨排斥ハ今日支那ノ風潮ナルヲ以テ支那人ニ支那官憲トシテ正面ヨリ之ニ反對シ若ハ之ヲ压迫スルコトハ事實上中ニ困難ナルヘク從テ日本側ニ於テ如何ニ嚴重ナル抗議等ヲ為スモ支那官憲ヲシテ或ル程度以上ニ之カ取締ヲ為サシムルコトハ不可能ナルヘシ此ノ間ノ事情ハ排日問題ノ對策ヲ議スルニ當リ我方トシテ充分承知シ置カサルヘカラサル所ナリト信ス素ヨリ支那側内輪ノ事情ノミヲ顧慮シテ彼等勝手ノ取締ニ放任スルニ於テハ益々排日ノ風潮ヲ盛ナラシムヘキニ付隨時警告ヲ与ヘ若ハ地方日本人商業會議所其ノ他ノ団体ヲシテ排日不法行為ヲ列挙シテ日本政府ニ對シ嚴重交渉ヲ要求スル決議ヲ為サシメ之ヲ英字及漢字新聞等ニ發表シテ我方商民ノ強硬ナル態度ヲ知ラシムル等ノ方法ヲ取り以テ極端ニ走ラシメサル様努力スヘキハ勿論ナルカ実行ニ際シ却テ事態ヲ悪化セシムルカ如キ事件ヲ誘致スルノ虞アル自衛ノ措置ハ嚴ニ之ヲ慎マサルヘカラス支那官憲ノ取締カ一般ノ風潮ヨリ自然ニ緩和ニ流ルルモノトスレハ仮令右ノ如キ自衛ノ方法ヲ講シタリトスルモ其ノ当座以上ニ永續的ノ効果無カルヘキノミナラス却テ地方的ノ軋轢ヲ甚シクシ事態ヲ改善スルノ効果無クシテ寧ロ反對ノ結果ヲ見

ルカ如キ事ナシトセサルヘシ要スルニ排日問題ニ対シテハ從來ノ經驗ニ徴シ大体前記ノ如キ方針ニ依リ措置スルヨリ外無カルヘシト思考ス

天津へ暗号ノ儘郵送セリ

(奉天經由五月三十日前一、三〇)

一八一 六月一日(着) 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日嚴重取締り方沈外交次長ニ申入レノ件

第五〇五号

三十日沈瑞麟ニ会見シ漢口發長沙宛五月二十三日附機密第四号長沙發閣下宛第二八号及福州發閣下宛第三九号ノ摘録ヲ手交シ嚴重取締ヲ要求シタルニ沈ハ当方ヨリ度々ノ申出アリ國務院外交部ヨリ各省ニ訓令済ニシテ之ニ対シ回電アリタル省モアル次第ニシテ地方官憲取締レルモ排日ヲ以テ愛國行動ト誤解セル向ニハ取締ト共ニ右誤解ヲ解ク様注意セシメ居レリ摘録中ノ事実ハ發訓前ノ分モ有ルヘキカ取調ヘ措置スヘシト答ヘタルニ付本官ハ地方警察ノ取締緩慢ナルヨリ排日団ノ暴行激烈トナル傾向有ルモノト認メラルル

処右ノ如キ事態ハ本官ノ職責上ノミナラス帝國政府モ此ノ上容認シ難ク日本国民ヲシテ折角日支關係ノ緊密重要ナルヲ自覺シテ今日迄堪忍シ来レル対支態度ニ大變化ヲ来ス虞アリトテ嚴重取締方迫リタリ

漢口、長沙、福州、天津及上海へ暗送セリ

(奉天經由六月一日前一、三五)

一八二 六月六日(發) 在青島森總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国学生ニヨル蘭強奪事件ニ付省長宛嚴重

交渉方措置振り申進ノ件

第三七六号

本官發濟南宛電報第三二号

昨五日青島糸廠ガ益都県下岳莊ヨリ青州停車場附近青島糸廠支店宛發送中ノ蘭二百本(約千二百貫)ヲ益都県城附近ニ於テ学生ノ為メニ強奪セラレ学生ハ此ノ蘭ヲ焼却スト称シ居レリ又四日晚学生三十名許リ同支店附近ニ来リ蘭売込支那人二名ヲ拉致去リタル趣ニテ至急保護方同廠ヨリ願出アリタルニ付当方ニ於テモ支那官憲へ交渉ス可キ処貴管内

加ヘントスル風潮アルヲ以テ旁此ノ際強硬ナル交渉ヲ必要トス可シ

大臣及公使ニ転電セリ

一八三 六月六日(發) 在青島森總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

青島学生団ノ糸廠分店ノ蘭買付妨害等ニ関シ

報告ノ件

第三七八号

本官發濟南總領事宛電報第三三三号

往電第三二二号ニ関シ只今青州ヨリ歸リタル青島糸廠店員ノ報告ニ依ルニ一昨四日午後同地学生約二千人排日行動ニ出デ数十名ツツ隊ヲ組ミ遠巻ニ同糸廠分店ヲ包囲シテ支那人ノ同店ニ蘭ヲ運ビ来レル者ヲ阻止シ昨日午後ハ同城外ニテ同店ニ運送中ノ買附蘭二百数十包ヲ強奪シ一方同地日本人会経営小学校々舎ニ対シ外ヨリ鍵ヲ下シテ日本児童ヲ苦シムル等形勢險惡ナリ同糸廠ハ直接省長ト県知事ニ対シ学生取締方ヲ交渉シタルモ知事ハ学生ニ対シ何等ノ權威ヲ有セザルヲ以テ此ノ上ハ省長ニ交渉シ兵力ヲ用ヒ取締ヲ為サシ

ムル外他ニ良策無シトノ事ナリ何レ同店員實地ニ急行シ委細面陳スル筈ニ付至急嚴重取締方省長ニ交渉煩度ク尚宮城ヲ大至急青州ニ出張セシメ成ルヘク同系廠購買附ノ期間中同地ニ滞在シ貴官並本官トノ連絡ニ当ラシムル様致シタシ大臣及公使ヘ転電セリ

一八四 六月七日（発）在濟南藤井総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国学生ノ爾強奪ニ対スル山東省当局ノ善後

処置ニ関シ申進ノ件

第四二号

（青島絲廠購買入ニ対スル学生ノ妨害事件）

本官發青島宛電報第二八号

貴電第三二号及第三三号ニ関シ

本七日熊省長ニ面談シ本件委曲説明ノ上強奪セラレタル爾ノ取戻シ並ニ学生ノ暴行者ニ対スル将来ノ取締方嚴重ニ申入レタル処省長ニ於テモ既ニ篤ト県知事ヨリ本件ニ関シ報告ニ接シ居ル趣ニテ爾ノ返還並ニ将来ノ学生取締ニ関シ充分ナル措置ヲ講ズベキ旨言明セリ尚宮城書記生ニ至急青州出張方命ジタリ

大臣及公使ニ転電セリ

一八六 六月十二日（発）

在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締ニハ曹錕、吳佩孚ヲシテソノ勢力下

ノ督軍等ニ取締リヲ勵行セシムル必要アル旨

稟申ノ件

第五三〇号

中央政府ノ現状ニ顧ミ此際如何ニ督勵ヲ加フルモ排日事件ニ対シ徹底的取締ヲ加ヘシムルコト困難ト認メラルルノミナラズ地方領事ヨリ地方官憲ニ取締ヲ要求スルモ是レ亦種種ノ事情ニ依リ充分ノ結果ヲ期待スルコトヲ得ズ然ルニ目下ノ形勢ニテハ長沙事件ノ影響モ手伝ヒ各地ノ排日益々悪性ヲ帯ビ来ルニアラズヤト懸念セラルルニ依リ漢口総領事稟申ノ如ク曹錕及吳佩孚ニ対シ利害ヲ説キ切実ニ其ノ勢力下ニ在ル督軍等ニ取締ヲ勵行セシムルコト必要ナリト思惟ス素ヨリ其ノ効果ニ付テハ必ズシモ多クヲ期待スベカラザランモ此際保定洛陽方面ニ手ヲ附ケザルコトハ我方トシテ当然尽スベキ手段ヲ尽サザルコトト相成ルベキ儀ナルニ付

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一八六 一八七

大臣、北京ヘ転電セリ

一八五 六月七日（発）在青島森総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

学生団ノ爾沒収事件ニ対スル山東省益都県当局ノ措置振り報告ノ件

第三七九号

本官發濟南宛電報第三四号

拙電第三二号及第三三号ニ関シ

昨朝膠澳交涉署ニ交渉シ直ニ益都県知事宛沒収爾ノ返還方電命セシメ置キタリ貴官ニ於テモ本官發電ニ依リ早速適當ノ御措置アリタル義ト信スル処昨夜青州青島系廠分店發当地（脱）王交渉員益都県知事代理トシテ同分店ニ来リ鈴木支配人ニ対シ知事等ノ顔ヲ立テ事件ヲ此儘ニ済マサレ度ク然ラハ今後責任ヲ持テ嚴重学生ノ取締ヲ行フヘシト申出タリ明日知事自ラ来リ謝意ヲ表スル筈、問題ノ爾ハ既ニ取引ヲ了セリ損害輕微ナリトノコトナリ右ニテ本件ハ一段落ヲ告ケタル義ト思考スルモ事情ノ調査ノ為宮城ヲ一応同地ニ派遣相成ルコト御便宜カト存ス

テハ例ヘバ管内巡視ノ名ノ下ニ天津総領事ヲ保定ニ漢口総領事ヲ洛陽ニ赴カシムルカ（漢口地方ノ現状モ然ルコトナガラ此際四五日ノ留守ハ已ムヲ得ザル可シ）若クハ当館ヨリ然ルベキ館員ヲ派スルカ何レニスルモ直接之等ノ方面ニ接触ヲ試ムルコト極メテ必要ト思考セラル、何分ノ儀至急御詮議アリタシ

漢口ニ転電シ天津ニ暗送セリ

一八七 六月十二日（発）在濟南藤井総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日貨運動ノ取締方申入レニ対スル山東省当局ノ処置振りニ関シ申進ノ件

第四五号

本月五日本官熊省長ニ面会シ長沙事件ノ例ヲ引キ排日貨運動ニ関連セル学生ノ横暴ニ対シ嚴重取締ヲ要求セル所一方ニ於テ大總統及曹錕ヨリ治安維持ニ関シ地方官憲ヲ督勵セル訓電ニ接シタルモノノ如ク省長ハ九日学界、商界、新聞社其他各界代表者約十名ヲ招集シ政務庁長ヲシテ臨城事件ノ經過ヲ説明セシメ且ツ旅大問題ニ基因スル經濟絶交運

動ハ各地ニ進行シツツアルモ極端ニ走ルニ於テハ遂ニ長沙事件ノ如キ問題ヲ惹起スルニ至ルヘク各界諸氏愛國ノ誠意ハ之ヲ諒トスルモ機宜ヲ失シ國家艱難ノ際一層事端ヲ滋カラシメサル様切望スル旨訓示セシメ學界代表者モ等シク之ヲ承認シ散会セリ尚ホ同地警察庁會議ニ於テハ省城治安及ヒ軍警連絡ニ付テ協議セル外(不明)學生ノ行動取締勵行ノ方針ヲ決定セリ之ヲ要スルニ当地支那官憲ハ目下ノ所相當ノ誠意ヲ以テ治安維持ニ努力シ居ルモノノ如シ

本電北京ニ転電シ青島及ヒ芝罘ヘ暗号ノ儘郵送セリ

一八八 六月十八日(発) 在青島森總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

河南省鄭州ニ於ケル排日學生ニヨル桐材取扱

本邦商人ノ被害ニ関シ申進ノ件

第三九一号(至急)

在当地桐材取扱本邦商人ノ申立ニ依ルニ河南鄭州ニハ桐材買付ケ本邦商人十九軒アリ内十一軒迄ハ青島商人ノ派遣員ニ係リ一軒ハ天津ヨリ出張セル者ナル処同地ニ於ケル排日ハ刻々悪化シ本商ノ買付ケニ係ル約五十萬元ノ桐材ハ全部

府ニ対シ御嚴談アル様御取計アリタシ

北京漢口濟南ヘ転電セリ

一八九 六月二十六日(発) 在天津吉田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

我宣伝新聞ニ対スル排日団体ノ迫害ニ付報告ノ件

第一一九号

天津日日新聞、順天時報ハ二十四日ヨリ市内新聞取次店ヨリ取次ヲ拒絶セラレ配達自營ノ已ムナキニ至レリトノ始末ニテ排日団体ハ我宣伝新聞ノ経営ニモ迫害ヲ加ヘ来レルト共ニ益々当地ニテハ天津日日ヲ鞭撻ノ必要アルヲ以テ往電第一一五号新聞操縦費増額ノ件至急御認可ヲ乞フ

一九〇 七月七日(発) 内田外務大臣ヨリ
在中國各公館長宛(電報)

排日對抗措置トシテノ新聞ノ利用並ビニ其ノ

効果ニ付回電方訓令ノ件

合第一三一号

支那各地ニ於ケル現下ノ執拗ナル排日運動對抗策ノ一トシ
三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 一八九 一九〇

搬出ヲ阻止セラレ本邦人ハ排日學生ノ圧迫ニ依リ立退ヲ強要セラレ市内支那商店ノ門前ニハ大部分國辱忘ルル勿レ日支經濟絶交、旅大回收スヘシ等ノ意味ヲ認メタル標識ヲ掲ケ日本人ト取引シ又ハ日本人ニ使用サルル支那人ヲ捕ヘ額ニ国賊ト墨書シテ市中ヲ引廻ハス等傍若無人ナリ又陝西三原県出張中ノ当地異洋行店員鈴木ヨウジハ學生ニ圧迫セラレテ同地ヲ引揚ケ途中宿屋ニテ投宿ヲ拒マレ或ハ食料ノ供給スラ十分ニ受ケ兼ねテ本月六日鄭州ニ到着セリ是等地方ノ支那官憲ハ何等取締ヲ加ヘス事態容易ナラサルヲ以テ在鄭州本邦商人ハ代表者四名ヲ漢口ニ送り林總領事ニ保護方嘆願シタルカ本官ヨリモ間接尽力アリタク特ニ領事館員ヲ鄭州ニ常駐セシムル様取計ヲ請フトノコトナリ

本件ニ関シテハ既ニ漢口總領事ヨリ警察官二名ヲ派遣セラレタルコトナルモ地方官憲ノ折衝並情報蒐集等警察官ノミニテハ種々不便ナル事情アリト思考セラルルニ付テハ更ニ漢口ヨリ支那語出身ノ老練ナル書記生一名ヲ鄭州ニ急行セラレタク時局柄漢口館員手不足ナルニ於テハ便宜當館ヨリ棚谷書記生ヲ暫ク同地ニ出張セシムルモ差支ナシト考フルニ付何分ノ儀大至急御指図仰キタク尚在支公使ヨリ北京政

テ排日ノ不条理且支那ノ為不得策ナル所以ヲ宣伝セシムル等貴地關係新聞利用方充分御尽力相成居ル義ト存セラルル処今日迄右ニ付貴官ノ執ラレタル措置並其ノ効果等電報アリタシ尚貴地新聞利用上使用セラルヘキ記事材料ハ必要ニ応シ当方ヨリモ相当送付シ得ベシ為念

別記

- 一、在支公使
- 二、天津總領事
- 三、上海總領事
- 四、濟南總領事代理
- 五、漢口總領事
- 六、広東總領事
- 一一、福州總領事
- 一二、厦門領事
- 一三、重慶領事

以上

章ナルモノナク只記載三事項ノ第三項ニ三連單買付高ヲ青島ニ運送スル場合途中税局ニ於テ三連單ト商品ヲ対照シ合符スルトキハ則チ註命シ規則違反ノ事情アルトキハ該貨物ヲ没収スルトアルノミ劉省長ハ本邦人カ未開放地ニ工場ヲ開設スルト云フモ右ハ針小棒大ノ説ニテ實際材木ノ儘運送スルハ不便ナルヲ以テ買付地ニ於テ暫時支那人家屋ヲ借受ケ下駄材ニ仕上クル迄ノコトニテ右ハ遊歴護照並三連單使用ニ伴フ当然ノ權利ナリ目下陝西省排日状況ハ極メテ重大ニシテ官民拳ッテ日本ニ対シ交戦国同様ノ待遇ヲ為シ(本官発大臣宛電報第四三二二号参照)且ツ其ノ裏面ニハ吳佩孚以下直隸派督軍省長ノ後援アルコト周知ノ事實ニシテ此儘ニ放任セムカ同省ノ排日ハ必ス再ヒ附近各省ニ瀰漫スヘク一部桐廬商人ノ迷惑トノミ看過スル能ハサル事情アリ事茲ニ至レル以上地方領事館ヨリ館員ヲ派遣シ或ハ電報若ハ文書ノ交渉ヲ為スモ斷シテ要領ヲ得サルモノト考フルニ付此際閣下ヨリ外交部ニ対シ嚴談セラルルト同時ニ貴館ヨリ相當地位アル館員一名ヲ現地ニ派遣シ劉省長ノ反省ヲ促サルルコト必要ト存ス尚右稅務署令ハ当地鈴木副稅務司カ好意的ニ當館員ニ内示シタルモノナレハ支那官憲側ヘノ御交渉ニ

ヲ余儀ナクセラレタルモノナリ資金關係ナシト認ム

四、今回ハ特ニ歐米人ニ於テ援助煽動シ居ル形勢ナキモ排日主唱者ハ外商關係ノモノ多シ大連仁川航路ニハ日支兩國船ノ競争アルモ支那人當業者カ特ニ排日ヲ煽動スルカ如キ模様ナシ

五、当地ニハ未タ邦人ニ対シ直接危害ヲ加ヘ又ハ其ノ營業ヲ妨害スルカ如キ行為ナシ地方官ハ是等直接行動ニ対シテハ相當取締ヲ為スナラムト思考セラルルモ往電第一九号ノ如キ排日貨決議ニ対シ自己ノ地位ヲ賭シテ迄モ之カ取締ヲ為サシムル丈ノ誠意アリトハ期待シ難シ要スルニ排日貨ハ支那人相互ノ脅迫關係ニ係リ成立スルモノニシテ地方官ト雖夫々後口闊キ処アレハ徹底ノ二排日取締ヲ為ストキハ其ノ地位ヲ保持スルコト困難ナリ

六、居留邦人ニ於テ特ニ排日ヲ助長スルカ如キ言動ヲ為スモノハナキモ其ノ態度心情ハ在留歐米人ニ比シ幾多ノ遜色アリ

七、未タ目立チタル影響ナシ

八、支那政府ニ対シ嚴重取締ヲ要求スルハ勿論ナルモ排日思想ノ絶滅ハ容易ナラサルニ付排日貨ニ対スル根本対策

際シテハ右引用ナキ様致度單ニ其ノ内容文ヲ商人側ヨリ得タル情報トシテ御利用アリタシ鈴木ノ依頼ニ依リ特ニ申進ス

大臣及漢口ヘ転電セリ

一九七 七月十八日 (発)

在芝罘内山領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

芝罘ニ於ケル排日ノ実情並ビニ対策二関シ申

進ノ件

第二五号

貴電合第一三六号ノ件左ノ通告申ス

一、朝鮮合併、安東、大連、青島ノ發達、山東問題、英米商ニ比シ日本商人ノ勢力微弱ナルコト
二、前回ノ排日ニ懲リ今回ハ微温のニシテ専ラ他地ノ形勢觀望ニ力メ支那商ノ損失ヲ輕減スル為消極的態度ヲ持ス
三、他地ノ風潮ニ刺戟セラレタル學生団カ当地社会ニ最モ勢力アル濰台玉田(國民連合会会長ニシテ英商和記洋行買弁)ヲ動カシタル結果經濟上ニ商務總會以上ノ勢力ヲ有スル國貨團(團長吳敬之)モ亦体面上排日貨ノ決議

ハ内地物価ノ引下ニ依リ生産費ヲ低下セシメ歐米及支那品ニ対シ充分競争ノ余裕アル商品ヲ供給スルニアリ品質優良ニシテ低廉ナレハ一時的ノ現象ハ別トシテ結局ハ売行アルヘシ則チ當業者カ其ノ実力ト努力トニ依リ經濟的ニ排日貨ヲ打破スルノ外ナク各団体カ且ニハ日支親善ヲ売物ト為シタニハ威圧的手段ニ出ツルカ如キ態度ハ余リ効果ナシ寧ろ平素ヨリ日支兩國商人間ニ専ラ個人的ノ接觸ヲ計リ漸ヲ追フテ排日主唱者ヲモ經濟關係ヨリ我味方ニ引入ルルノ策ヲ講スヘシ尚当地輸入日本品ハ大部分支那商ノ取扱ニ掛ルモノナルヲ以テ大連、大阪、上海等ノ仕入先ニ於テ当地ノ客商ト経路、荷造及商標ノ變換等ヲ協議セハ相當緩和ノ道アルヘシ

九、雜貨類特ニ日用品中ニハ支那工業ノ進歩ニ伴ヒ經濟的ニ競争困難ノモノ頗ル多シ愛國、國貨提唱等ノ美名ノ下ニ排日ヲ為スモノニ対シ地方官カ現在ノ実力ニテ充分取締リ得サルハ尤モト認メラレサルニアラス

十、上海、天津、濟南等ニ於ケル排日貨風潮ニシテ終熄セハ自然当地モ之ニ順応スヘシ最近ハ排日団体ニ於テ何等ノ活動ナシ

十一、直害ハ殆ントナカルヘシ但シ日本品ノ輸入禁止ノ決議ナカリシナランニハ当然得ヘカリシ予定利得ノ損失ハ相当大ナルモノアルヘシト思考セラルルモ当地ハ大正八年以降客年末迄執拗ニ排日貨ヲ支持シ来リタルモノナルニ付之ヲ山東問題ノ解決前タル昨年同期ニ比スレハ当地排日貨ハ現在トテモ大ニ緩和セラレ居ルナリ

十二、今回ノ排日貨ニ於テハ特ニ石炭食料品ヲ除外セリ砂糖及雜貨ノ新約定ハ当分困難ナラムモ其他ノ商品ハ値段次第ニテハ引合アルヘク又當業者ハ当地ニ現物ヲ所有スルニ於テハ雜貨ト雖小口商アルヘシ

十三、排日ニ対スル当地限りノ対策トシテハ邦人ニ対シテ直接行動ニ出テサル限り寧ロ冷静ナル態度ヲ持スルヲ可トス蓋シ国貨團ノ解散及其ノ排日貨決議ノ取消ヲ要求スルモ他大都市ノ風潮ニシテ終熄セサル限り実現不可能ナルニ付北京政府又ハ省長ヲシテ各地排日団体ノ解散ヲ実行セシムルコト必要ナリト思考ス

其ノ他詳細ハ六月十一日附機密第三一号ヲ以テ報告シ置キタリ

在支公使、濟南へ暗送セリ

一九八 七月十九日（着）

在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日運動ノ嚴重取締リ方ニ關スル王承斌及ビ
曹銳トノ会談内容申進ノ件

第六三五号

本使天津立寄ノ際王承斌及曹銳ヨリ吉田総領事ヲ通シ会见ヲ申込タルニ付十六日総領事館ニテ面会シタル所王ハ日支両国ハ密接離ルヘカラサル特殊關係ニアルヲ以テ互ニ援助アリタク殊ニ現時ノ不安状態ハ至急有力者ノ出テテ確實ナル政府ヲ組織スル要アリトテ本使ノ友誼的援助ヲ希望シ從來兩國政府間ハ日支ノ關係ヲ諒解視スル關係ナリシモ國民ノ一部ニハ誤解ヲ有シ排日運動ヲ惹起セルモ之トテ有力ナル政府組織セラルレハ鎮靜ノ期近シトテ天津ニ於ケル排日運動取締交渉ノ模様ヲ説明シ漸次ニ取締リ平靜ナラシムヘク努力中ナリト述ヘタリ依テ本使ハ率直腹藏ナキ意見ヲ述フト冒頭シ欧州戦後華府會議山東細目協定其他ノ事實ヲ指摘シ支那ニ対シ日本ノ示シタル好意的態度ヲ叙述シ支那國民真ノ愛國運動ナラハ日本トシテモ之ニ同情スルニ吝ナラサルモ現時ノ排日運動ハ真ノ愛國心ニ出ツルニアラス若シ

真ノ愛國運動ナラハ内政ノ改善ニ奮起スルノ要アリ例ヘハ海關、郵政、塩務ノ如キ何レモ殆ト外國人ニ支配セラルルノ状態ナラスヤ國家復興ノ方図ニ何等ノ自覺ナク單ニ二十一條旅大問題ヲ口実ニ騒クモ二十一條ハ山東問題既ニ決シ其他ニ於テ重要ナルモノトシテハ僅ニ旅大問題ニ過キス併カモ旅大問題ハ先般日本ノ回答シタル如ク簡單明瞭ニ支那ノ要求ニ応シ能ハサル所ニシテ右ハ日本朝野ノ斷乎タル一致意見タルノミナラス予ハ一夜支那有識者ヨリモ支那ハ日本カ右還附セサルコトヲ当然ナリト思惟シ居レル旨直接ニ聞キ又間接ニ支那有識者カ之ヲ承知シ居レルコトヲ度度伝聞セリ然ルニ条約違反ノ（脱）ハ公然經濟絶交ヲ唱フルニ至リテハ実ニ無謀ノ極ニシテ真ノ愛國心ニ出テタルモノニアラサルヲ信ス併モ右排日運動ハ主トシテ天津長江一帶ニシテ即チ直隸派勢力範圍ニ行ハレ尚該地方官憲ハ之カ嚴重取締ヲ為ササル為メ益々激烈トナリタルニ直隸派首領曹巡閱使モ之ヲ默認セルモノノ如ク認メラレ日本朝野ハ直隸派ノ真意如何ヲ疑フニ至レリ現ニ排日ハ今ヤ日本朝野ノ重大問題トナリ今後ノ形勢如何ニ依リテハ日支国交上ニ重大ナル影響ヲ来タスヘク現時支那政府ノ實際上ノ主權者タ

ル直隸派ニ於テ至急徹底の取締ヲ行ヒ速ニ之ヲ鎮圧シ其誠意アル事實ヲ示シ日本朝野ヲシテ之ヲ諒解セシムルノ要アリ然ラサレハ帝國政府トシテモ深く考慮スルノ已ムヲ得サルニ至ル次第ナリト述ヘタリ次テ（一）貴省長ハ漸次ニ取締ルト言ハルルカ排日運動カ真ノ愛國心ニアラサル以上当局ハ直ニ嚴重取締ヲ実行セラルコト当然ニシテ緩慢ナル措置ハ遂ニ取締放任ノ結果トナルヘシ（二）（不明）直隸派勢力範圍ノ各地方ニ於ケル排日ヲ至急徹底の取締ヲ励行セラレタク（三）兩國政府当局カ親善關係ノ緊要ナルヲ諒解セリト言ハレタルモ予ノ接手セル情報ニ依レハ直隸派中ノ重要人物タル吳佩孚將軍ノ如キハ排日煽動ノ密電ヲ発シ又ハ日本ト開戦ヲ辞セストノ言論ヲ為シタリトノコトナリ予ハ輕々シク之ヲ信スルニアラサルモ其管下ニ排日運動ノ激烈ニシテ併モ之ヲ放任セムトスル傾向アル事實ハ必スシモ右密電等ヲ否認シ難キ実証トモ考ヘラル併モ吳將軍ノ長官タル立場曹巡閱使カ斯ノ如キ事態ヲ默視セラルルカ如キ態度ハ甚タ諒解ニ苦シム所ナリト述ヘタルニ王ハ曹錕ハ勿論直隸派各人ハ日本ニ対シ好意コソ有スレ斷シテ惡感ヲ有セス排日運動ハ必スシモ直隸派勢力下ニ限ラス殊ニ激烈ナル長沙ノ如キ

ハ直隸派ノ地方ニアラス又天津及漢口其他長江一帯ハ各国居留地アリ各派ノ人士混入シ種々ナル運動ヲ為スニ付之カ取締ニ困難ナル点ヲ説明弁解シ現ニ曹錕ハ最近其勢力範圍ノ各地方督軍省長等ニ対シ嚴重取締方ノ通電ヲ発シタルニ徴シテモ其誠意アル実証ナリト述ヘ本使ノ意見(一)ニ対シテハ排日煽動者ハ日本ヲ誤解シ居レルニ付之ヲ徹底的ニ取締ルニハ相当ノ手段ヲ要ス若シ然ラスシテ急激ナル圧迫方法ニ出テムカ却テ激烈ナル反動ヲ惹起シ日支ノ關係ヲ益々惡化シ取締ノ目的ニ反スルノ結果ヲ来タス虞アルニ付相当時日ヲ与ヘラレタシトノ意ニテ決シテ緩慢ナル手段ヲ執ルノ意ニアラス

(二)ニ対シテハ自分ハ長江方面ノ直接地方官憲ニアラサル為メ命令シ難キモ同地方長官ハ何レモ同派ノ人ニ付自分ヨリ早速御話ノ趣旨ヲ傳達シ取締実行方努力セシムヘシ

(三)ニ対シテハ呉佩孚ハ三四年來常捷將軍タルヨリ戰敗者等ニテ呉ヲ恨ミ政敵タリシ右戰敗者カ種々ナル方法ニテ呉カ日本反對者ノ如ク謠言又ハ捏造文ヲ宣伝シ直隸派ト日本トノ離間ヲ計ルモノ多ク之等ノ点ハ日本側ニ於テモ既ニ御承知ノコトナルヘク呉ノ日本反對ハ全然事實ニアラス排日運

動ノ如キモ呉ハ常ニ洛陽ニ在リ其実情ヲ承知セサル次第ニ付誤解ナカラムコトヲ希望ストテ切りニ弁解的の回答ヲ為セリ依テ本使ハ現ニ排日運動ノ行ハレツツアルニ拘ラス徹底的の取締ヲ為ササルハ不可ナリ兎モ角今日会谈ノ次第ハ両氏ヨリ曹巡閱使ニ御伝ノ上直隸派勢力範圍内ニ於ケル排日運動ニ対シ至急徹底的の取締ヲ勵行セシメラレタク本使モ着任後暫時其取締実状ノ如何ヲ見タル上今後貴國ニ対スル我方ノ態度ニ資セム考ナリト述ヘタルニ兩人ハ之ヲ快諾セリ尚兩人ハ直隸派ノ希望ヲ申出タキ下心アルヤニモ推測セラレタルカ出發時間切迫セルニ付王ハ更ニ北京又ハ当地ニ於テ懇談ノ機ヲ得タシトテ辞去セリ

天津、上海、広東、漢口、南京、奉天へ暗送セリ

一九九 七月二十二日(着) 在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

直隸派勢力範圍内ノ排日運動ノ徹底取締リニ
関シ沈外交總長代理ニ申入レノ件

第六四八号

十九日本使沈外交總長代理ヲ往訪シ新任挨拶ノ上両国間ニ

ハ幾多ノ懸案アリ今後双方誠意ヲ以テ至急解決ヲ計リタキ所存ナルガ差向キノ重要ニシテ迅速ノ解決ヲ要スルハ排日問題ナリトテ青島発本使宛電報第三一三号青島發閣下宛第四三二号及漢口發閣下宛第一六六号中ノ事實而已ヲ記載セル覺書ヲ手交シ排日取締ニ付テハ中央政府ヨリ各地方官ニ電訓アリシコトヲ承知セルモ今春來各地排日行為ノ依然トシテ終熄セザルハ地方官ニテ嚴重取締ヲ実行セザルニ基クモノニシテ殊ニ其劇烈ナル地方ガ多ク直隸派ノ勢力範圍ナルコトハ現中央政府ガ直隸派ニテ支持セラルル実状ニ顧ミ其意ヲ得ズ本件ハ今ヤ日本朝野ノ一致憤慨ヲ來シ最近上海ニ於ケル日本商業會議所ノ会合トナリ東京ニ於テハ貴族院議員其他有力団体集合トナリ後者ノ決議ハ既ニ蜂須賀侯ヨリ加藤総理ニ提出セラルルニ至リ若シ今日ノ如キ状態ヲ続ケンカ日支邦交上ニ重大ナル惡影響ヲ惹起スベキニ付貴國当局ガ至急最有効ナル手段ヲ以テ長江筋ハ勿論河南、陝西ヲ初メ其他地方ニ於ケル排日運動ヲ鎮圧スルコト実ニ貴國ノ為ナリト思惟ス本使ノ見ル所ヲ以テスルニ直隸派地方ニ対シテハ同派ノ最高実力者タル曹巡閱使ヨリ直隸派ノ各省地方長官ニ対シ排日取締方ニ関スル嚴重ナル電命ヲ発セラ

ルルコト最有力ナル一方法ナルベシト述べタルニ沈ハ各種ノ懸案ハ双方ノ和衷協商ニ依リ円満解決ヲ計リタク排日問題ニ関シテハ中央政府ヨリ既ニ各省ニ取締方電訓シタルモ何分本件ハ一時ニ勃發シタル問題ニアラズ地域モ広キニ亘ルニ依リ之ガ迅速鎮定ハ困難ナルモ漸次鎮靜ニ至ラシムベク御手交ノ覺書内ノ事項ハ早速當該官憲ニ調査取締ヲ訓令スベク又曹巡閱使ヨリノ發電方ニ付テハ同巡閱使ニ商議ノ上取計フベシト答ヘタリ依テ本使ハ更ニ排日行為ガ長期ニ亘リ終熄セザルハ地方官ニ於テ實際ノ取締ヲ勵行セザル為ナルガ排日運動長引ケバ長引ク程自然貴國ニ対スル我方要求条件ヲシテ益々大ナラシムル結果ヲ来タスヘク我方ニテハ単ニ形式的の訓示ニテハ満足シ難ク迅速且徹底的ニ排日運動ヲ鎮圧セシムルコト必要ナリ而シテ之カ為ニハ貴國中央及地方当局ニ於テ有ラユル適切有効ナル手段ヲ講ズルコトノ緊要ナル旨ヲ力説シタルニ沈ハ之ヲ諾セリ

尚兩三日中ニ摂政内閣ノ閣員ニシテ王承斌曹銳同様直隸派幹部トシテ実権者タル高凌霨及吳毓麟ニモ申入ルル所存ナリ

青島漢口へ転電シ天津上海濟南南京奉天へ暗送セリ

二〇〇 七月二十五日 (発) 在濟南藤井総領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

濟南ニ於ケル排日ノ実情報告ノ件

第五五号

青島総領事宛第一三五号貴電ニ関シ

- (一)山東問題以来特ニ学生界ニ排日風潮ヲ馴致セリ
- (二)在来ニ比シ著シク巧妙トナリ運動自体モ成ルヘク当方抗議ノ口実ヲ与ヘザル様努メ居ルモノノ如シ
- (三)学生連合会、国貨研究会(後者ハ表面国産奨励ヲ目的トスル団体ナルヲ以テ其役員ニ省議會議長、商務會長等各界ノ名士ヲ網羅セルモ排日運動ノ事務ニ携ハリ居ル者ハ少数青年ナリ)
- (四)当地ニハ本項ニ該当スル的確ノ事実無シ
- (五)新聞、外交、政党宣伝力ヲ有スルモノ排日ヲ主唱シ居ル次第ナレバ之ヲ嚴重取締ルニ於テハ壳国奴ノ汚名ヲ受ケ其ノ立場ヲ失フ虞アルト地方ニ於テハ警察力不十分ナル為取締ノ意思アリトスルモ実行困難ナル如シ
- (六)当地邦人ハ隱忍シ居リ為ニ排日ヲ挑発シ居ル如キ事無シ一般ニ在支邦人中品質劣等ナルモノ多キ結果他外国人ニ比

締り勵行ニ関スル観測等申進ノ件

第六五八号

貴電第四四三号ニ関シ

今次ノ排日「ボイコット」ノ遠因ト云ヘバ日露戦争以来支那官民間ニ助成セラレタル排日ノ気分ナルベク表面的直接ノ原因ハ二十一ヶ条問題ナル可シ二十一ヶ条問題ハ支那政府ヨリ公然日本ニ要求セラレタル問題タル關係上支那官吏ニシテ公然今次ノ「ボイコット」ニ参加スルガ如キ態度ヲ執レル場合アリ例ヘバ吳佩孚等ノ通電ノ如キ又北京軍隊ノ行列(此事ナシト主張シ居ルモ)ノ如シ之レ今回ノ排日運動ノ一特徴ト認メラザルニアラズ

学生ノ政治運動参加ハ近年益々顯著トナリ外交問題内政問題ニ付各国公使外交新聞紙其ノ他ニ意見ヲ開陳スルコト珍シカラス排日「ボイコット」ニ学生団ノ牛耳ヲ取リツツアルモ之等一般ノ趨勢ト見ルヲ得ベシ今次ノ「ボイコット」ニ付テハ北京奉天等ノ学生ガ檄ヲ飛バスノ外親シク遊説員ヲ派シテ各地ノ排日ヲ煽リ連絡ヲ取リタルハ排日運動ヲ組織的ナラシメ熾烈ナラシメタル一原因ナリ尤各地ノ商売上ノ競争等ノ加ハリタルハ勿論ナルモ其ノ中心竝実行力ハ学

シ支那人ノ輕侮ヲ招キ居ルハ事実ナリ

(イ)該當ノ事実ナシ

(ハ)当地ニ於テハ邦貨輸入業ニ従事シ居レルモノ尠キ為本項研究調査ノ資料無シ

(ニ)排日ノ表面理由ハ旅大回収ナリ從テ支那官民ノ排日申分中尤モト認メラルヘキモノナルベシ

(イ)旅大回収運動ノ誤レル事少クトモ本件ガ全ク米國ノ同情ヲ得ザル事ヲ明カニ悟ル迄終熄ノ望ミ無シ但支那官憲ニ於テ誠意ヲ以テ嚴重ニ取締ラバ何時ニテモ終熄スベシ

(ロ)本邦人ノ輸出業ハ殆ド排日ノ影響ヲ蒙ラズ目立タル損害ハ当地ニ工場ヲ有スル燐寸会社ガ五月以来月(額)二、三万円ノ売行減少ヲ見タル事ナリ支那人欧米人ノ利益取調ベ困難ナリ

(ハ)藥劑、医療機械、工業藥品等ハ何等排日ノ影響ヲ受ケズ寧ロ漸次売行増加シツツアリ

二〇一 七月二十七日 (着) 在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

排日運動激化ノ原因及ビ直隸派近時ノ排日取

生ニアリタルコト疑ナシ之等ノ排日運動ニ對シ地方官トシテ嚴重ニ取締リ得ザルハ其表面ノ理由ガ支那上下ノ要求シ居ル二十一ヶ条廢止ニ在ルヲ以テ之ニ逆ツテ取締ヲ勵行スルコトハ人氣ヲ損スル所以ニシテ何等得ル処ナケレバナリ(杭州領事發閣下宛機密第三二二号)

中央政府ニ於テモ此問題ニ對シテハ当初(黎總統張内閣時代)余リ交渉スルヲ欲セズ寧ロ對日外交ニ利用セント考ヘ居リタリト推セラレザルニアラズ直隸派ガ之ヲ放置シタルハ曹錕選舉ヲ控ヘ不人氣トナルベキコトヲ恐レタル事情モアルベシ且「ボイコット」ノ取締ノ出来ザルハ中央ニ權力アル政府ナキガ故ナリ若シ曹錕一度大總統タラバ其ノ取締ノ如キ勵行シ得ベシト稱シ曹錕選舉運動ノ一ニ利用スルト同時ニ上台ノ上ハ取締ヲナシテ其ノ實力ヲ示サントノ魂胆ニ出デタルモノト想像セラル這般ノ消息ハ直隸派ノ党人ノ口吻中ニ屢々現ハレタル処ナリ然カモ其ノ後曹錕選舉ノ事ハ容易ニ實現セラレザルノミナラズ各地ノ排日益々烈シク且漸ク直隸派ノ態度ヲ非難スルノ声昂マリ来リタルヲ以テ曹錕上台ノ機会迄猶予スルヲ得ザル破目トナリ悖テコソ近來取締勵行ノ方針ヲ執リ来タリタルモノナルベシ唯從來ノ

態度ヲ急変スル訳ニモ行カズ今ヤ漸ヲ逐ヒテ取締マラントシツツアルモノノ如シ直隸派ニ於テモ前記ノ如ク漸ク取締ヲ励行セントシツツアルノミナラズ運動実行ノ中心タル学生等モ時ノ経過ニ依リ引続キ峻厳ナル態度ヲ以テスルニ於テハ排日「ボイコット」ハ漸次ニ下火トナルモノト観測セラル

(奉天經由七月二十七日午前八、二五)

二〇二 七月二十八日(着) 在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ノ外交使臣ニ対スル顧外交総長ノ非礼ニ
対シ高首席総長ニ抗議申入レノ件

第六六二号

往電第六五六号ニ関シ

目下ノ排日問題ハ成ルヘク摂政内閣ノ手ニテ鎮定セシメタキ希望ニテ旁日本ノ面目ニ累ヲ及ホササル限りハ国書捧呈問題ニ対シ顧維鈞ノ小細工ニ基ク直隸派ノ決裂ハ成ルヘク之ヲ避ケタキ内意ヨリ七月二十六日摂政内閣ノ首席総長タル高凌霨ヲ往訪シテ七月十六日著任ノ翌日直ニ外交部務代

理沈次長宛著任ノ趣ヲ通知シ超ヘテ十九日公式ニ部務代理ヲ往訪シテ就任ノ挨拶ヲ為シタルニ対シ沈モ正式公使トシテ本使ノ地位ヲ認メタルニ拘ラス二十三日顧維鈞外交総長ニ就職シ親シク各国公使ヲ訪問シタルニ拘ラス本使ヲ除外シ又就任通知ニモ日本公使館宛トシテ本使ヲ認メサルカ如キ仕打ニ出テタルハ国際ノ礼讓ヲ顧ミサルモノナリ外交上ノ慣例トシテ一國公使カ正式ニ任国政府ニ著任ヲ通知シ其国外務大臣ニ就任ノ挨拶ヲ為シタル上ハ国書捧呈ノ以前ニ於テモ任国政府ハ之ヲ正式公使トシテ待遇スルコト文明國一般ノ慣例ナルニ反シ顧総長カ斯ル措置ニ出テタルハ頗ル遺憾ナリ將又敢テ茲ニ指摘スルハ如何カト思ハルルモ本使亜細亞局長在任中支那公使館ノ經費ノ籌弁等ニハ相当尽力ヲ為シタル訳ニモアリ顧総長部下ノ体面維持ノ為ニ為シタル尽力ニ対シテハ顧ヨリ感謝ヲ受クル道理コソアレサル特別待遇ヲ受クルカ如キハ予想ダモセサル所ナリ貴総長ハ内閣ノ首班トシテ顧ノ反省ヲ促シ正道ニ復帰スル様可然御配慮アリタキ旨述ヘタルニ対シ高ハ先日饗宴ノ席上ニテ本使ト腹藏ナク意見ヲ交換シタル翌日摂政内閣ノ閣議ニ於テ自今日日本トノ親善増進ヲ図ルコトト決定シタルカ今回顧維鈞

害モ無キ位ナリ貴電合第一三六号各項ノ回答要点左ノ通り

一、旧軍政府ニ於テハ地方支那人ニ対シ比較的恩恵ヲ施シ居リタルヲ以テ地方的排日ノ原因ナシ一般ノ原因トシテハ臨城事件ニ関シ支那ガ非常ニ苦シメラレタルニ付日本ガ土匪ニ関係アルモノト疑ヒ一層嫌惡ノ情ヲ昂メシ如シニ、無シ

三、運動者ハ北京或ハ上海辺ヨリ派遣サルル学生団代表ノ為勧誘サレ余儀ナク表面的ノ運動ヲ為スノミニテ他地方ノ如キ深刻ナル行動無シ当地ニハ有力ナル学生団ナク又商人側ハ皆日本人ト密接ナル関係ヲ有スルモノ多キヲ以テ排日運動ヲ専門的ノ職業ト為スモノナシ

四、当地ノ関スル限り欧米人及支那人当業者ノ援助煽動ナシ

五、当地ニテハ交渉ノ結果相当取締リ居レリ奥地ニテ取締リ得ザルハ排日ハ一般ノ風潮ニシテ之ニ反対スルハ日本人ニ買取サレ愛國運動ニ反対スルモノト見做サレ地方官ノ地位ヲ危クスルニ依ル

六、支那在留本邦人ハ一般ニ自己ノ地位ヲ顧ミズ支那人ニ対シ劣等國民ニ臨ムノ態度アリ事アラバ直ニ官憲ニ依頼

ノ外交総長就任ニ当リ其就任後ハ閣員ノ一員トシテ此大方針ニ基キ職務ニ従フ様懇談シタル所全然同意ナリト述ヘタルカ其際ニモ国書捧呈ナキハ慣例ニ反シ外交上種々困難アリト語リタルニ徴スルモ今回ノコト決シテ故意ニ特別取扱ヲ為シタルニアラサルヘキヲ以テ方誤解ナキヲ希望スル次第ナルカ御陳述ノ次第ハ御尤ニ付早速明日顧総長ニ面会シテ協議ヲ遂ケタル上更ニ何分ノ回答ヲ為スヘント語リタル後顧ハ外交専門家ナルモ慣例等ニ捉ハレ大局ヲ見ルノ明ナキヲ惜ムト内話シタリ

(奉天經由七月二十八日前〇、〇)

二〇三 七月三十日(発) 在青島森總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

青島ニ於ケル排日ノ実情並ビニ対策ニ関シ申
進ノ件

第四四一号

貴電合第一三五号及第一三六号ニ関シ

当地ハ今回ノ排日運動ノ影響ヲ蒙ル事最モ少ク奥地々方ノ取引関係ヲ除キ当地ノミニテハ取立テテ謂フベキ程ノ損

三 中国各地ニ於ケル日貨排斥状況 二〇四

シ威圧ヲ加ヘテ其ノ非ヲ遂ゲントシ能ハザレバ惡声ヲ放ツヲ常トス是皆教養ノ不足ニ基クモノニシテ邦人一般ノ「モーラル、スタンダード」ヲ向上セシムル事ハ根本的緊要ノコトニ屬ス

七、今般在支及在日本商業會議所ノ排日運動ニ関スル決議請願及各新聞紙ノ強硬ナル論調ハ支那人一般ニ薄氣味惡キ感触ヲ与ヘ支那官憲ヲシテ排日運動取締リニ付良好ナル影響ヲ与ヘタリ

八、一般對策トシテ邦人間ニ提唱サルル關稅特別會議及治外法權撤廢ノ延期其他種々ノ對策ハ一モ良好ナル結果ヲ招徠スルモノト思ハレズ此際地方ニ於テハ嚴重ナル交渉ヲ試ミ事態ニ応ジ出先ニテ臨機ノ措置ヲ執ル事勿論ナルモ排日運動ノ根本的對策トシテハ隱忍自重輕躁ナル居留民ニ依リ事端ヲ惹起サルルヲ防ギ徐ニ機運ノ轉換ヲ待ツノ外ナシト思考ス

九、郵報

一〇、今次ノ排日運動ハ秋迄ニハ終熄スベシト觀察ス之レ從來ノ經驗ト實際支那商人ノ利益カ永続ヲ困難トスルニ依ル但今後トモ好題目生ズル毎ニ排日運動ハ間歇的ニ起

ルモノト覺悟セサルベカラズ
十一、十二、ニ関シテハ当地ニテハ今次排日ノ影響ヲ蒙ムルコト少キヲ以テ取立テ言フベキ程ノモノナシ
委細郵報ス

在支公使ニ転電セリ

二〇四

八月九日（着）
在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日ニ関スル措置方督促並ビニ長沙在留民保護ニ付当該地方官憲ニ命令徹底方外交總長ニ申入ノ件

第六九八号

八日外交總長ニ会見ノ際往電第六九二号排日ニ関スル措置方督促シタル処顧ハ取調中ナルニ付報告ヲ俟チテ措置方回答スベシト答ヘ次テ長沙事件ニ関シ本使ニ於テ取調済ナリヤト意見ヲ問ヘルニ付本使ハ本件ハ当時東京貴国代理公使ノ照会ニ對シ回答済ニシテ右回答文ノ同文吉田代理公使ヨリ貴部ニ送付シアリ右ニ依リ御承知ノ通り帝國政府ハ貴方要求ノ五条件ハ承認シ難キ次第ナルガ本使個人トシテハ

（奉天中継八月九日前一、〇）

二〇五

八月十四日（着）
在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

排日取締リニ関スル外交總長發地方官憲宛電訓ノ実施振りニ付査報方申進ノ件

第七一九号

本使發漢口宛電報第二一号

本使發大臣宛第六九二号及第六九八号ニ関シ十三日熊秘書外交總長ノ命ニ依リ来（訪）シ排日禁止布告^{サンテツ?}要求ニ付テハ本使ノ申入タル次第ヲ詳細記載シタル上通商ノ妨害ハ条約上許ササル処ニシテ且公然對日經濟絶交ヲ唱ヘ又ハ激烈ナル對日伝單ヲ撒布スルハ不当ニ付勸導シテ取締方外交總長ヨリ湖北督軍及安徽督理ニ電訓シタル旨回答アリタルヲ以テ本使ハ右電訓ニテハ当方ノ要求徹底シ居ラスト認ムルモ湖北、安徽官憲ニ於テ今後ノ取締振ヲ見タル上更ニ交渉ニ及フベキ旨ヲ答ヘ置ケリ就テハ貴地督軍ニ對シ中央政府ヨリノ電訓ヲ確メラレ且今後ノ取締振取調ノ上報告アリタシ

本件死傷者ニ對シテハ同情ヲ有スルモ元來本件ハ湖南省政府ガ排日暴挙ヲ充分ニ取締ラザル為ニ發生シタル事件ナリ湖南省ニ於ケル對外事件ヲ中央政府ニ於テ處理セントセラ^ルル以上ハ同省ニ於ケル在留邦人保護ノ義務ヲモ中央政府ニ於テ責任ヲ負ハルル筋合ナルガ同省ノ中央政府ニ對スル地位如何ト質シタルニ顧ハ当方要求ハ湖南省民ノ意思ニ依リ同省政府ヨリ中央政府ニ申出デタルモノニシテ内政上ノ關係ハ複雑ナルモ對外問題ニ関シテハ各省トモ中央政府ヲ代表セル外交部ト連絡ヲ有セリトテ外交ト内政ハ別ナリト述ベタルニ付本使モ内政ト外交ノ區別ハ承知セリ然レドモ本使ノ質問ハ貴国内政如何ニアラズ本使職責上長沙在留日本人ノ保護ニ對シ該地方官憲ニ於テ十分其責任ヲ尽サザル場合ハ中央政府ニ對シ地方官憲ニ命令ノ徹底スルヤ否ヤヲ確カムルコトハ外交ニ相違ナシト信ジタルニ付先ヅ以テ其点ヲ明瞭ニ致シ置キタキ迄ナリト述ベタルニ顧ハ貴意ヲ了承セルニ付今後湖南ニ於ケル事項ニ関シ貴方御申出ノ次第ハ同省ニ訓令シ措置セシムベシトテ曖昧ナル答弁ヲ為シタルニ付重ネテ往電第六九二号要求ノ通り至急措置方督促シテ別レタリ

外務大臣蕪湖へ転電シ天津上海長沙へ暗送セリ
(奉天中継八月十四日后三、三五)

二〇六 八月二十一日(着) 在中国芳沢公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

陝西ノ桐材搬出禁止ニ付外交部へ申入レノ件

第七四三号

本官発漢口宛電報第二二号

貴電第一四〇号ニ関シ

館員ヲ外交部ニ遣ハシ確メシメタルニ桐材抑留ノ理由ハ陝西省ニテハ同治二年以来木材ノ輸出ヲ禁止シアルニ拘ハラズ海關ガ右ノ事情ヲ確メズシテ三連單ヲ発給シタルニ依ルコトニテ外交部ハ省長ヨリノ請訓ニ対シ八月十一日(一)右桐材ヲ買戻スカ(二)今回限り搬出ヲ許可スルカトノ二案ニ付考究ノ上処理スル様回電シタル由当方ヨリ同省ノ木材輸出禁止云々ハ從來ノ実例及条約等ニ顧ミ甚ダ諒解シ難キモ此ノ点ハ暫ク将来ノ問題トシ既ニ発行ノ三連單ニ依ル貨物ニ対シテハ一律搬出ヲ許可ス可キ様至急訓令方要求シタル結果一兩日中ニ省長宛更ニ何分ノ電訓ヲ為スコキ旨約セリ更ニ

スト為ス反運動行ハレタルノミナラス湖北省ノ如キ領事ノ報告ニ依リ既ニ御承知ノ通令尚排日事件絶ヘス要スルニ震災カ全然世間ノ注意ト同情トヲ集メタル結果之ヲ機トシテ大体ニ於テ排日カ一層下火トナレルハ事実ナルモ之カ為該運動カ全然終熄シタルニアラサルハ申迄モナシ次ニ震災カ我国力ニ及シタル影響ニ関シテハ支那人一般ノ感想ハ日本ハ今後暫ク海外ニ対シテ積極的政策ヲ執ル能ハサルヘシト為ス点ニ於テハ大体一致スルカ如キモ之カ為メ日本ノ国力乃至世界的地位カ重大ナル影響ヲ受ケタリトハ思考シ居ラサル如シ又当地方在留外国人ノ一部等ニハ震災ノ結果何等カ日本ノ經濟界ニ多大ノ變動ヲ生シ恐慌ヲ来タスカ如キコトナカルヘキカト想像シ一時彼等ノ間ニ噂ニ上リシコトアリシ模様ナルモ之トテ其当座丈ニシテ間モナク問題トセラレサルニ至リシ模様ニ之アリ新聞紙ノ如キモ此点ニ付論議セルモノ殆トナク尚間島琿春ノ如キ僻遠ノ地方ニアリテハ日本ノ国力減退ニ付甚シキ流言行ハレタル如キモ右ハ一時ノ現象ニ過キサリシモノノ如シ

督促ノ上追テ何分ノ儀電報ス可キモ右不取敢
大臣ニ転電シ青島ニ暗送セリ
(奉天中継八月二十一日前一一、三五)

二〇七 十月九日(発) 在中国芳沢公使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

震災ニ伴フ排日運動緩和ノ理由並ビニ震災後
ノ中国官民ノ対日感情ニ関スル観測報告ノ件

第九三六号

貴電第五九九号ニ関シ

各地領事ノ報告ヲ綜合シ震災ノ排日運動ニ及ホシタル影響ヲ見ルニ大体ニ於テ各地ノ排日カ一段ノ緩和ヲ見タルハ疑ナキ所ニシテ右ハ從來内々排日ニ不賛成ナリシモノニ対シテハ公然日本ニ対スル同情表白ノ機会ヲ与ヘ又漸次排日ニ飽キ其運動ノ中止ニ何等カノ口実ヲ求メ居リシ排日団体ニハ好個ノ口実ヲ与ヘタルト同時ニ比較的根強キ排日団体ニ於テモ支那各界及外国ノ強烈ナル同情ニ顧ミ排日運動ヲ差控フルニ至リシカ為メナルヘシ尤モ宜昌漢口上海等ニ於テハ日本救済運動ノ為ニ排日ヲ中止スルカ如キコトアルヘカラ

三 揚子江流域

二〇八 三月二十一日(発) 在宜昌森岡領事ヨリ
松井外務大臣宛(電報)

揚子江上流地区ノ排日情况報告ノ件

第三七号

長江上游各地ニ於テ五月七日ヲ期シ再ビ排日運動ヲ開始スヘク内々準備中ナル形跡アリ今回重慶ヨリ来レル安昌洋行支配人ノ談ニ依ルニ同地ハ昨年以來引続キ排日熱最盛ニシテ現ニ日本人ノ名義ニテハ一切取引出来ズトノコトニモアリ又当地ニ於テモ昨今市中ヲ往来スル日本人ニ惡罵ヲ発スル支那人多ク且当館ノ門ニ毎早朝来リテ侮辱的落書ヲ為スモノアルヲ以テ小官ヨリ嚴重取締方支那官憲ニ要求中ニテ茲ニ、三ヶ月特ニ警戒ヲ要ス
右ノ事情ナルヲ以テ出来得レバ領事會議ヲ予定ヨリ一週間位繰リ上げ開催セラルルコト便宜ト存ス
公使、漢口、上海へ電報セリ